

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：社会経済システム論 ILAS Seminar :Socio-Economic Systems			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授 柴山 桂太		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2024・前期	受講定員 (1回生定員)	10(10)人	配当学年	1回生	対象学生	全学向
曜時限	水5	教室	総人1306			使用言語	日本語
キーワード	グローバル化 / 民主主義 / ナショナリズム / 近代化 / 戦争と平和						
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)							
【授業の概要・目的】							
<p>現代はグローバル化の時代であると同時に、国家間の対立や緊張が高まる時代でもある。なぜ経済的な結びつきが深まっているにもかかわらず、戦争の危険が高まってしまうのか。なぜポピュリズムと呼ばれる過激な政治が現れるのか。この授業では、現代のグローバル化した世界で生じている問題を取り上げて、講義による解説と、参加者による報告・討議を行う。</p> <p>これから社会科学を学ぶ学生に、現代世界の直面する課題への関心を広げてもらうのが、この講義の目的となる。</p>							
【到達目標】							
グローバル化する現代世界への理解と関心を深めること、およびそれらの問題に関する基礎知識を身につけることが目標となる。							
【授業計画と内容】							
<p>第1回～2回 イントロダクション</p> <p>第3回～第7回 講義は、以下のトピックを考えている（必要に応じて参考文献のコピーを配布する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化の歴史と現在</li> <li>・民主主義の後退</li> <li>・ナショナリズムの再燃</li> <li>・新興国の成長と「圧縮された近代」</li> <li>・「文明の衝突」?</li> </ul> <p>第8回～第14回 参加者各自の関心に基づく報告と討議。各自の報告テーマについては、授業中に相談して決定する。</p> <p>第15回 フィードバック</p> <p>講義はゼミ形式で行われるため、積極的な発言が求められる。欠席がちの者は、単位を取得できない。</p>							
ILASセミナー：社会経済システム論(2)へ続く							

ILASセミナー：社会経済システム論(2)

**[履修要件]**

特になし

**[成績評価の方法・観点]**

報告(30%)、出席と参加の状況による平常点(30%)、およびレポート(40%)による評価。詳細は初回講義時に示す。

**[教科書]**

使用しない

**[参考書等]**

(参考書)  
授業中に紹介する

**[授業外学修(予習・復習)等]**

報告の準備に際して、インターネット上の情報のみに頼るのではなく、図書館の資料を効果的に利用してもらいたい。詳細は講義時に説明する。

**[その他(オフィスアワー等)]**

報告内容の相談等は講義後に行う。